



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第49号(2009年2月16日)



ドバイ・ショッピング・フェスティバル

2009年1月15日から2月15日までの1ヶ月間、ドバイにて第13回「ドバイ・ショッピング・フェスティバル」(DSF)が開催されました。常に免税価格でショッピングができる場所として世界的にも人気の高いドバイですが、そのドバイでさらにお得な買い物ができる場がこのDSFです。1996年に始まったDSFには毎年世界中から多くの来場者があり、2007年には約3,500万人の来場者数を記録しました。

40以上あるショッピングモールでは、50%のディスカウントは当たり前のバーゲンセールが数多く実施されました。今回特に人気が高かったのは電化製品で、ノートPCや液晶TV、携帯電話などが好調な売上げを記録しました。

また、購買金額に応じたクーポンで抽選が行われる、毎年恒例の豪華なくじ引きも実施されました。多額の現金や高級車、金1キロが当たるなど賞品の価値は桁外れで、DSFの目玉ともなっています。さらにDSFの期間中にはドバイ中の有名ホテルやレストランの食事が味わえる食の祭典、「ドバイ・フード・フェスティバル」や、深夜まで店舗やレストランが営業する「ナイト・スーク」なども開催され、会場は世界中から詰め掛けた多くの買い物客で賑わいました。

(ミドル・イーストウッド)



出所: Gulfnews、DSF Office



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

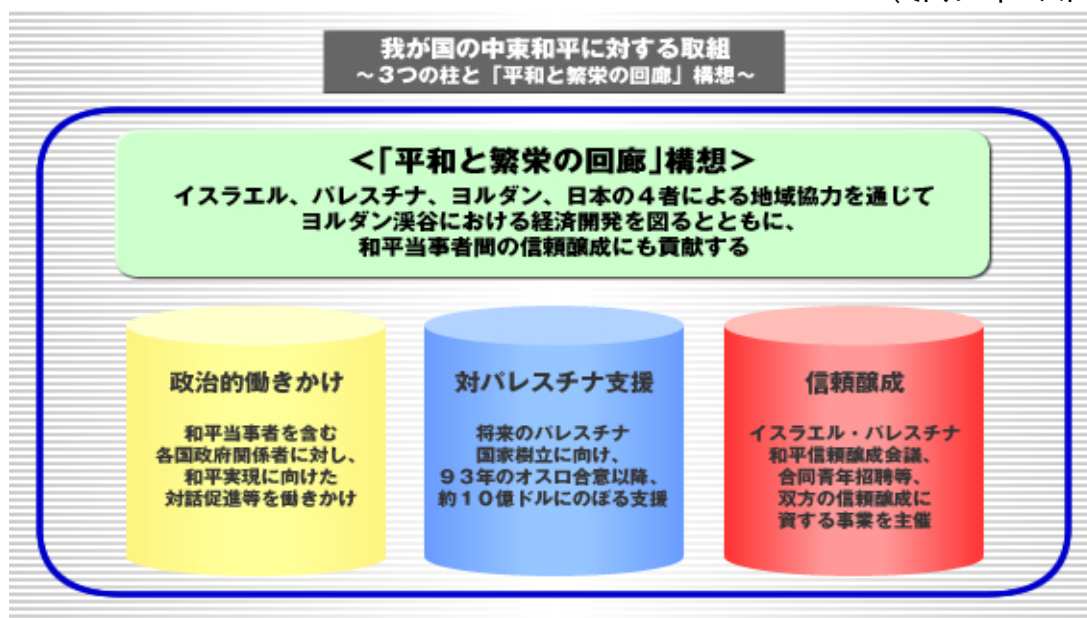


よくわかる中東情勢⑥(最終回)

前回「よくわかる中東情勢⑤」で触れた取組を総合するものとして「平和と繁栄の回廊」構想があります。これは、2006年に小泉首相(当時)が中東を訪問した際に提案したもので、肥沃な大地として知られるパレスチナ自治区のヨルダン川西岸に、日本、イスラエル、パレスチナ、ヨルダンの4者間の協力により農産業団地を建設することなどが検討されています。これにより、サウジアラビアやドバイなど経済的に豊かな湾岸諸国や欧米諸国、あるいは日本にまで農産物を輸出する物流インフラを周辺国の協力も得て構築することで、パレスチナ経済を発展させ、また域内の「信頼醸成」に役立てることを狙っています。これは、当地域の持続的な和平実現のためには、当事者間の「信頼醸成」を促進することが重要であるとの考えに基づくものです。この構想では、日本の無償資金協力や技術協力を通じて農産加工と物流拠点整備のための調査が行われており、2009年の早い時期に農産業団地の基礎インフラ整備に着手できるよう現在準備が進められています。周辺地域を含め、相互依存関係を深めながら平和に共存共栄する、そのための支援を日本は惜しまない覚悟です。

これらの支援により、同地域に一日も早く平和が訪れることを、我々も心から願っております。

(ミドル・イーストウッド)



出所: 外務省



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



中東のタブーシリーズ⑤ <招待客としてのマナー>

文化の違う家庭に招かれた時、どのように対応したらいいの？とお困りになった経験がある方も多いのではないのでしょうか。自分の意に反して、失礼にあたることがあっては大変ですね。そこで今回は2回にわたり、イスラム教の家庭に招待された際に気をつけていただきたいマナーをご紹介します。

～マナー編～

・靴を脱ぐ

洋式のスタイルも普及しているようですが、多くの家庭では靴を脱いで過ごしているようです。

・足や靴の裏を見せない

イスラム教では、足や靴の裏は不浄なものとしてされている為、それを見せることは相手を侮辱することにあたります。足は人体で最も下に位置する部位であることが主な理由です。

アラブの正式な座り方である胡坐あぐら、もしくは立て膝をすれば間違いないようです。

・深々としたお辞儀をしない

初対面ですと、つつい日本らしいお辞儀をしまいがちですが、イスラム教では深いお辞儀は神に対するもののため、悪い印象を与えることもあるそうです。適度な挨拶や握手での関係作りがベストのようです。

・相手の頭に触れない

イスラム教では神からの恵みは天上から降りてくると考えられており、頭に手を乗せるとそれを遮ることになることから、タブーとされています。

可愛い子供がいても頭を撫でず、誰かの頭に埃がついていても、気になりますますがそのままにしておきましょう。



<次回のらくだより50号では～食事編～をお届けします>

(マグニチュートー8.2)

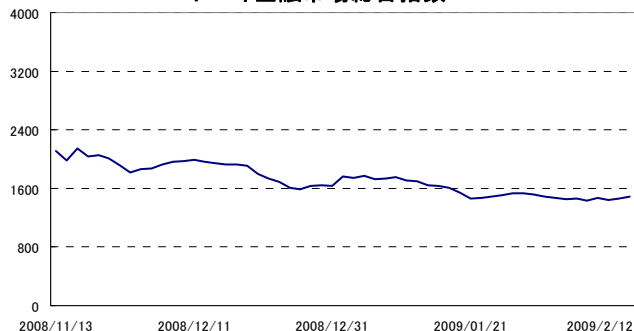


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

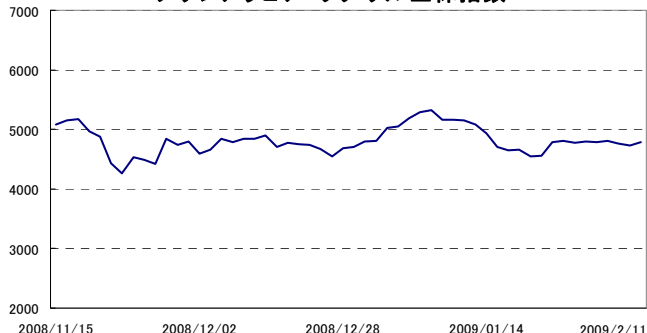


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近3ヶ月)

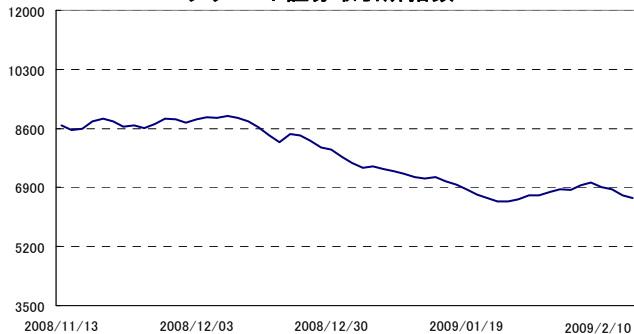
ドバイ金融市場総合指数



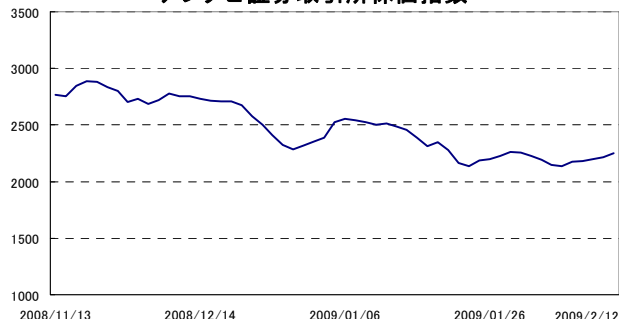
サウジアラビア タダウル全株指数



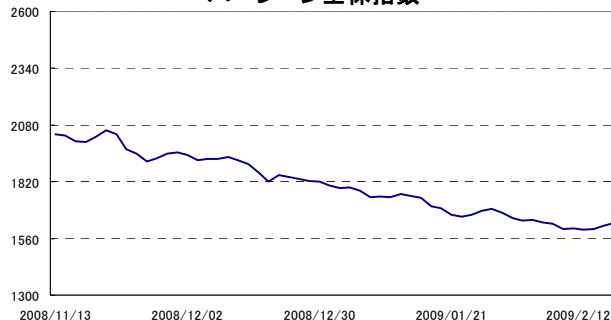
クウェート証券取引所指数



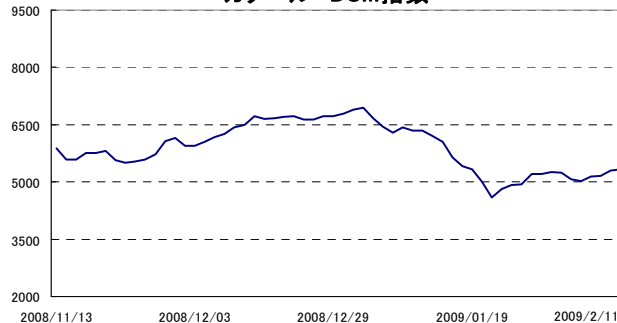
アブダビ証券取引所株価指数



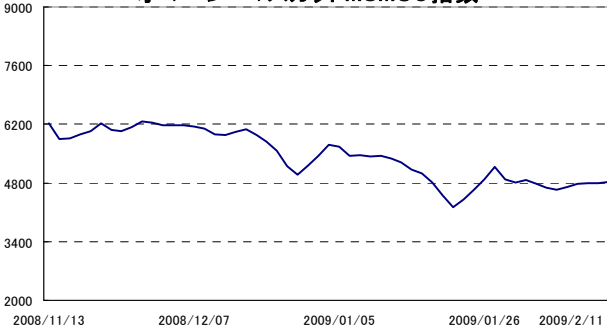
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:ブルームバーグ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。